

240年を経て よみがえる 常磐津二題

— 常磐津家元所蔵浄瑠璃本の修復と復曲 —

2.9 日

14時30分開演

14時開場(16時45分終演予定)

受講料 1,000円 申し込み方法は裏面
案内をご覧ください

定員 60名(要申込・先着順)

会場

京都市立芸術大学

日本伝統音楽研究センター7階

合同研究室1

(京都市西京区大枝沓掛町13-6)

画像／浄瑠璃本「緑増常磐寿」部分
(常磐津家元所蔵)



<https://rcjtm.kcuu.ac.jp/>

日本伝統音楽研究センター
ホームページ



日本伝統音楽研究センター設立20周年記念プロジェクト
京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター第56回（令和元年度第2回）公開講座

2020年2月9日（日）

14時30分開演（14時開場）

京都市立芸術大学

日本伝統音楽研究センター7階
合同研究室1

240年を経てよみがえる常磐津二題

— 常磐津家元所蔵浄瑠璃本の修復と復曲 —

平成二十七年（二〇一五年）年、東京の常磐津家元宅より、江戸期の浄瑠璃本が蔵出しされました。虫損により閲覧不能でしたが本学大学院美術研究科保存修復専攻の協力で修復、約百点（六百丁）の浄瑠璃本がよみがえりました。世界に一点しかない新出稀覯本も多数。その中から二曲を精選し、復曲の経緯と手法、その意義を考察しながら、復元的演奏を試みます。修復された浄瑠璃本は、会場ギャラリーにて特別展示いたします。

本講座は二〇一六年度京都市立芸術大学特別研究助成およびJSPS科研費JPI7k02284による成果の一部です。



浄瑠璃本「帯文桂川水」部分（常磐津家元所蔵）

演目

「緑増常磐寿」 推定 安永九年（一七八〇） 正月初演
みどりますときわのことぶき

「帯文桂川水」 寛政八年（一七九六） 正月都座初演
おびのあやかつらのかわみず

復曲 常磐津 小文字太夫（浄瑠璃）

岸澤 式松（三味線、構成）

補綴 竹内 有一

演奏 浄瑠璃 常磐津 小文字太夫

常磐津 若音太夫

常磐津 千寿太夫

三味線 岸澤 式松

岸澤 満佐志

監修 常磐津 文字太夫

（常磐津家元 重要無形文化財常磐津節保存会会長）

解説 竹内 有一（研究代表者、日本伝統音楽研究センター教授）

常岡 亮（日本伝統音楽研究センター共同研究員）

小西 志保（日本伝統音楽研究センター共同研究員）

宇野 茂男（大学院美術研究科教授 保存修復専攻）



岸澤 式松



常磐津 小文字太夫



常磐津 文字太夫

申込方法

はがき・FAX・Eメールのいずれかの方法により、① 郵便番号 ② 住所 ③ 氏名 ④ 電話番号（FAX番号） ⑤ “第56回公開講座「240年を経てよみがえる常磐津二題」参加希望”と明記の上、お申込みください。先着順で受付けます。 ※ 定員に余裕がある場合は、当日も受付けます。

受付期間 令和元年 12月23日（月）～ 令和2年 1月31日（金）〈必着〉

申込・問合先 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6
京都市立芸術大学 事務局連携推進課 事業推進担当
Fax 075-334-2281 Eメール public@kcua.ac.jp
Tel 075-334-2204（平日8:30～17:15）※ 電話での申込受付は承っておりません

次回予告

2020年 3.26 木 14時～17時（予定）

日本伝統音楽研究センター令和元年度第3回公開講座
ウェブサイト「インターメディアとしての能」完成記念シンポジウム
デジタルヒューマニティの未来へ
会場 | 金剛能楽堂

事前申込制 申込方法等詳細については、別途
チラシ・大学HPでご確認ください。